

堀越区制百年記念 堀越区民運動会 四大会連続優勝 駒沢自治会

去る十一月三日に堀越区制一〇〇年記念運動会が盛大に開催されました。当日は、朝の内、雲の多い肌寒い陽気でしたが次第に晴れ上がり絶好の運動会日和となりました。

駒沢自治会は大会三連覇中で、ひよっとして今度もと期待しつつ競技がスタートしました。最初の自治会対抗《延長三〇メートル》は前半、運に恵まれず大きく他自治会にリードをゆるし、かなり形勢不利でしたが後半は奇跡的に長いロープを何度も引き寄せ大逆転

で見事一位となりました。次は《貯蓄リレー》前回大会では一位になっており今回もと期待していましたが今回は歯車がうまく合わなかったようでした。三番目は《玉入れ》背の高いメンバーを多く起用して空中戦を有利に勧める作戦をとりました。これが功を奏してか決勝まで順調に勝ち上がり、中でも二回戦は五十個以上を入れる大記録での勝利でした。決勝も終わってみれば大差がつき一位を獲得できました。四番目は、《運だめしリ



最高の数を入れた駒沢

レー》これはやきもきの連続でした。ジャンケンでは負けるし、勝っても赤玉はなかなか出はくれず今回は運がなかったようでした。ラストは、運動会の華、《対抗リレー》これは大いに盛り上がりしました。しかし二位でアンカーに引継いだのにランナーの運動不足の為、残念な結果となりました。しかし今までの貯金とボーナス点が効いて今回も優勝することができました。今大会は商品も良く、天

まつたけ観光35周年 松茸大豊作



本年は十月四日にオープンしましたが、松茸の収穫は低調で心配されたが、十月九日以降急激な収穫がで、区制百年、まつたけ観光三十五周年の節目の年を祝うがごとく大豊作となりました。松茸も十分な量が確保でき、特に品質も良くお客様には好評であったと思います。本年度は松茸の単価が高く昨年並みとはいきませんが、まずまずの成果が予想されるところであります。自治会協力費として相当額が還元できます。区民総参加の意義も含め御理解いただきたいと思います。

松茸が豊富に出て売店販売が出来てこそ観光も盛り



売店に並ぶ松茸

上がり良い成果が上がります。近年温暖化の影響か、収穫時期が十日程遅くなっており、開催時期も含め営業期間が短くなるのが予想されます。なんせ自然相手のこと難しいことではあるが皆で英知を出し合って出来る限り長く営業が出来ることがを望みます。期間中

運営委員、従事者、地区からの割り当て出勤の皆様、茸の出荷者、踊りグループの皆様、農作物を出荷いただいた皆様等それぞれの立場において御協力くださり、良い結果で終わることができましたことに感謝申し上げます。

観光委員長 堀本啓司

五分館だより

第61号

豊丘村公民館
第五分館
編集／社会部
印刷／燦プランニング
(堀本明一)

堀越の今日

平成19年11月現在
戸数 87戸
人口 353人
(男165 女188)

黒谷箋

早いもので二〇〇七年もあとわずかとなくなってしまう。時の過ぎるのが年々早く感じるの、自分の年齢のせいなのでしょう。今年も、いろいろな出来事がありました。毎日のようにニュースで報道される事件に胸が痛くなります。自殺、殺人というように、人間の命の大切さを解っていない人たちが大勢いるというのは悲しい事です。命の大切さというものを、もっと真剣に考えなくてはいけないのではないかと強く感じています。

今年の日本列島は、台風や地震などの災害、そしてこの夏は猛暑日が続く、そしてまた十一月には大雪というように異常気象の一年でした。

やはり地球温暖化ということも大きく影響しているのではないでしょうか。このままでは地球がどうなってしまうのか不安になります。

二〇〇八年は、明るく幸せな一年であってほしいものです。

三沢美恵子



豊丘村駅伝大会

十一月二三日に行なわれました、第二十回豊丘村駅伝大会に分館の部に第五分館として参加しました。ゲストに有森裕子さんを迎え五十三チームが参加し健脚を競いました。選手皆さんの活躍で、分館の部として第三位の成績を残しました。

去る十一月二十三日に、第二十回豊丘村駅伝大会が行われました。

今回は第二十回の記念大会ということで、元オリンピック選手の有森裕子さんを招き、また村外からのオープンチームの出場もあり、五十三チームが参加という賑やかな大会となりました。当日は気温は低かったものの晴天に恵まれ、絶好の駅伝日和の下、午前十時に全チーム一区の選手がスタートしました。私はその時三区の中継所にいましたが、久々の駅伝ということもあり、かなり緊張をしていました。

スタートから二十分程で続々と三区の選手が中継所



有森裕子さんと選手たち

村政懇談会質疑内容

十月三十日に村政懇談会が堀越区民会館で開催されました。村から吉川村長始め各課長、議会から松村副議長が出席しました。

最初に村側から重点事業等の説明があり、その後質疑に入り、主な質問・意見は次のとおりです。

Q 黒谷線は改良工事で行止めになっているが、迂回路だけでなく誰が見てもわかる親切な案内看板を立ててほしい。

A 最大限努力する。

Q 今年から浄化槽協会が合併浄化槽の検査を行うことになり、その手数料が五千円かかる。総代から説明があつてから直ぐ検査に来た。もう少し余裕をもつて対応できるようにしてほしい。

A 今までもやらずに今年から検査をやることになった。村も村民への周知をどのようにするか検討した。総代会の開催や広報を行うことにした。

Q この検査は業者の保守点検と同じことをやっている。手数料をこれからずつと負担していかねばならない。公共下水道との負担の違いはどうか。

A この検査料は県で決められている。下水道と差がないようにしなければならぬ。下水道の負担金は審議会が検討してもらい村民が納得するものにした。

Q 中平の住宅団地の今の状況はどうか。

A 九区画あるが空いているのは一区画のみである。今、逐次建築を始めている。山田の住宅団地は村で住宅を建てて貸し出す方式である。家賃は六万円程度で来年の夏には完成予定である。

Q 旧役場の跡地に住宅団地を造つたらどうか。結婚すると高森あたりに住み、そのまま帰ってこないこともある。若者が暮らす住宅を村内に造ってほしい。

A 検討委員会では、住宅団地は別な場所と言う意見が強い。若者の住宅の件は検討する。

Q 福祉センターが老朽化しており、改築するならば現地ではなく役場の中へ

もつて来たかどうか。

A 検討委員会で検討しているが、多くの人の意見を聞きたい。懇談会出た意見は参考にする。

Q 豊丘村と高森町の架橋は今どうなっているか。

A 県に要望しているがまだ具体的にない。どうしても必要な橋であり、総力を上げて取り組んでいきたい。

Q 保育所や図書館の民営化についてどのように考えているか。

A 公共性の強い施設なので余りのことはできない。職員間にある給与格差はできるだけ解消するよう努力する。

Q 先日、高齢者の居住施設を視察した。豊丘村にもそういう施設を村の便利などところ造ってほしい。

A 高齢者はなかなか住み慣れたところを動かさないとしない。気楽に生活する方がよいと考えている人が多い。そういうことからヘルパーの制度を充実していきたい。

Q 北小学校は生徒が少なくなってきた。南北小学校の統合はどのように考えているか。

A 少ない生徒でも教育上良いこともある。ここ数年は複式学級にならないので、当分は現状でいきたい。

質問・回答にニュアンスの違いがあるかと思えます。申しわけありませんがご了承願います。― 社会部 ―

第三軽便詰所完成！

日ごろは、豊丘村消防団ならびに、地元堀越の軽便班として大変お世話になっております。

この度は第一分団第三軽便班の消防詰所改築にあたり、堀越区の皆様方には大変ご尽力をいただきありがとうございます。

また、旧消防詰所からの引越の際には、大勢の消防OBの皆様方にお手伝いもいただきありがとうございました。古くからの貴重な消防用品の数々、多数の栄誉をたたえられた賞状・トロフィーなどを整理しながら、その思い出とともに

改めて拝見をし堀越消防班の伝統の重みを再確認した次第です。

おかげさまでもちまして、十二月中には建物本体が完成・引渡しが行われ、今年の年末警戒からは新しい詰所での活動ができる予定となっております。

大変味わいがあり、親しみもあつた旧消防詰所がなくなつてしまったのは、少し寂しさも感じますが、近代的な新消防詰所にて新しい活動ができる喜びを胸に、班員一同地域の防災拠点として大いに活用させていただきますので、今後も消



新しくなった詰め所の前で

防団へのご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

第一分団第三軽便班一同